

切迫早産患者に対するリハビリテーション介入に関する研究

1. 研究の対象

2021年6月1日～2022年9月16日の間に当院で入院加療した、切迫早産を合併する妊婦

2. 研究目的・方法

現在、日本において切迫早産の治療を行う場合、海外と異なり子宮の収縮を抑制する薬を使い、安静に過ごすような管理を行う「トコライシス」という方法を用います。そのため、安静を守らなくてはいけない期間が長期となり、筋力が落ちてしまったり関節の動きが悪くなってしまったり等様々な症状を起こす廃用症候群を引き起こすことが問題となります。

これらを予防するためには通常リハビリテーションを導入することがよいとされています。切迫早産患者さんに対するリハビリテーション導入の観察研究では、早産や帝王切開となる割合に変化がないとする報告があり、またリハビリテーションによる有効性を示す報告もあります。

本研究は研究対象者さんの電子カルテ情報を用いて、切迫早産患者さんに対するリハビリ効果の違いや早産率を解析し、リハビリテーションの有用性を検討します。また、分娩後の育児参加にかかる身体的な負担を軽減でき、育児参画をスムーズにする事が期待できる筋力回復があるかを評価します。

研究期間は、病院長許可日から2023年3月31日です。

3. 研究に用いる試料・情報の種類

情報：電子カルテより収集

・患者背景：性別、年齢、妊娠回数、分娩回数、胎数、胎位、入院時週数、分娩様式、安静度、産科的合併症、基礎疾患、安静度、分娩前退院の有無、治療、治療薬、早産歴、切迫早産歴、円錐切除術既往、入院日、リハビリ開始日、リハビリ終了日

・筋力測定：握力左右、大腿四頭筋筋力 等

4. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：磐田市立総合病院

研究責任者：産婦人科 川岡大才

〒438-8550 静岡県磐田市大久保 512 番地の3 0538-38-5000（代表）